

国立大学法人評価委員会による平成26年度評価結果を業務改善等に反映した主な事例

平成28年6月

評価結果	業務改善等に反映した事例
<p>○ 平成25年度評価において評価委員会が課題として指摘した、個人情報の不適切な管理については、平成26年度においても、教員が学生の個人情報が含まれたUSBメモリーを紛失する事例があったことから、再発防止とともに、個人情報保護に関するリスクマネジメントの強化に一層努めることが求められる。</p>	<p>法人評価結果において、平成26年10月に教員が学生の個人情報が含まれたUSBメモリーを紛失した事例について、再発防止とともに個人情報保護に関するリスクマネジメントの強化に一層努めることが課題とされ、主に以下の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○USBメモリー等可搬媒体から学生の個人情報の全面削除及び学外持ち出しの禁止、履修登録システムからの学生名簿・成績情報ダウンロード機能の削除、学生の成績評価に関する手順書策定のためのガイドラインの制定、紙媒体の学生の成績に関する情報の学外持ち出し禁止について、緊急かつ抜本的な取組として実施 ○個人情報保護研修、個人情報の利用等に関する自己点検の実施 ○個人情報関係規程の改正 ○情報セキュリティ内部調査の実施 ○情報セキュリティポリシー関係の見直し及びC-CSIRT（千葉大学情報危機対策チーム）の設置 ○グローバルIPアドレス申請手続きの厳格化 ○マルウェア及びBotウイルス撲滅対応 ○Webサーバーの脆弱性診断の実施サイバー攻撃による被害防止の取組 ○事務用パソコンにおける情報漏洩対策の強化、操作記録の保管及び個人情報を扱う業務とWeb閲覧業務の分離対策並びに早期検知機能の装備 ○情報セキュリティ対策方針の策定 <ul style="list-style-type: none"> 以下の取組についての第3期中期計画への反映 ・情報セキュリティに対する教職員の意識改革のための自己点検及び研修等の実施 ・個人情報を含めた情報資産に係る取扱いの見直し及び情報安全管理体制の整備 ・情報セキュリティ関係諸規程に基づく対策の遵守、定期的な実施状況の確認・改善 以下の取組についての平成28年度計画への反映 <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を含めた情報セキュリティに関する自己点検・研修及び調査 ・C-CSIRTの編成 ・コンピューター及びソフトウェアライセンスの調査を実施

○ 教員が他の研究者のパワーポイントのデータを盗用していた事例があったことから、研究倫理教育の強化を図るなど、再発防止に向けた組織的な取組を行うことが求められる。

法人評価結果において、教員が他の研究者のパワーポイントのデータを盗用していた事例があったことについて、研究倫理教育の強化を図るなど、再発防止に向けた組織的な取組を行うことが課題とされ、主に以下の取組を実施した。

評価結果に先行して研究活動の適正な推進及び研究活動上の不正行為を防止するための全学的な統括組織の整備
「国立大学法人千葉大学における研究活動の適正推進及び研究活動上の不正行為への対応に関する規程」の整備、施行

新任教員説明会における研究活動上の不正防止に向けた取組を紹介

研究活動の適正推進に関する意識啓発のための説明会の実施

各部局への研究倫理教育責任者設置による研究倫理教育の実施体制の整備・強化

全学的な研究倫理教育の実施方針の提示、運用の開始

研究分野の特性に応じた研究倫理教育についての部局担当者向け説明会の開催

剽窃チェックツールの研究論文への展開

以下の取組についての第3期中期計画への反映

- ・適正な研究活動の保持・推進に向けた体制の整備・検証、研究者倫理教育の実施

以下の取組についての平成28年度計画への反映

- ・研究倫理教育の各部局への展開・実施、部局が行う研究者倫理教育に関する取組内容に対する（全学的組織による）評価及び必要に応じた見直し改善等の指導

- ・学生の研究倫理教育に係る授業科目の必修化や科目数の増加についての検討、体系的な整備